

学校教育目標 「進んで学ぶ子・心の豊かな子・明るく元気な子」



狹山小だより

「誰からも信頼される、明るく元気な学校」

令和7年度
第9号
1月8日発行
児童数335名
TEL 04(2934)2077

「心を一つに。力を合わせて。」
～駅伝を通して思うこと。～

校長 田島 浩

明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。



令和8年、2026年が始まりました。旧年中は、保護者や地域の皆様方には本校の教育活動に関して、ご支援やご協力をいただき誠にありがとうございました。

今年は「**午年（うまどし）**」です。6年生の1月～3月、5年生の4月～12月生まれの子供たちが午年になります。午年生まれは**明るく前向きでエネルギー**な気質を持ち、社交的でどんな場所でも自然と人を惹きつける魅力を持っている、とのことです。



さて、私は主に12月から1月にかけて行われる「**駅伝**」が大好きです。日本発祥の「駅伝」は、1本の櫻をみんなで繋ぐことに魅力を感じます。入間市駅伝や全国高校駅伝、実業団駅伝、箱根駅伝、都道府県対抗駅伝など、目が釘付けになります。一般の部174チームが参加した入間市駅伝に「**狹山小EKIDEN部**」として参加し、第62位と大健闘しました。田中直人キャプテンが中心になって、チームをまとめました。メンバーの6人がそれぞれの目標タイムを設定し、個人練習を重ねて当日を迎えました。

「櫻を全員で繋ごう」と**心を一つに**し、目標タイムより少しでもよい記録を出そうと一人一人が持っている力を出し、**みんなで力で合わせて**走り切りました。走っていて苦しくなると、一人だけのレースだと妥協したりあきらめたりしてしまいがちですが、チーム競技である駅伝はそうはいきません。

学校の教育活動にも同じことが言えます。一人一人の教職員が任せられた学年や分掌に対して**使命感や責任感**を持ち、狹山小の子供たちのためにチームとして**全力を尽くす**ことが求められています。3学期は約50日間の短い学期です。**1月は行く、2月は逃げる、3月は去る**、と言われるように慌ただしく過ぎてしまいますが、1年のまとめの大切な学期です。悔いのない学期にして、次の学年に進級する準備をしてほしいです。**1年生は2年生の0学期の始まり**であり、**6年生は中学1年生の0学期の始まり**なのです。教職員は日々の生活の中で、子供たちに大切なことを確実に身につけさせながら、一人一人の力が一層発揮できるよう取り組んで参ります。

12月の学校生活

1月の生活目標「学習のきまりをまもう」

【町たんけん（2年）】12月5日（金）・11日（木）

生活科の授業で、初めて「町たんけん」を行いました。2日間でアリットや狹山台商事、長谷川園、青い鳥、入間看護専門学校、ゆりかご保育園にお邪魔しました。子供からの質問に対してとても丁寧に答えていただき、ありがとうございました。ボランティアの保護者の皆様にも感謝申し上げます。



【第2回教育未来会議（6年）】12月5日（金）



「入間市の教育をもっとよくするために、子供たちの声を聞かせてほしい。」という教育長の思いが詰まっている会議です。「ペアやグループなどの学び合い学習は好きですか？」という質問に対し、「友達に訊いたり教えてあげたりできるから。」、「答えが不安になってしまって、近くに友達がいてくれると安心できるから。」と代表児童は、好きな理由を堂々と答えました。

【社会科見学（6年）】12月10日（水）

千代田区にある「国會議事堂」と「科学技術館」に行きました。テレビで議事堂内の議場を目にする事はあっても、実際に見学したことのある子供はほとんどいません。「思っていたより狭いね。」という感想が聞こえてきました。科学技術館内では、グループ活動がしっかりとできました。



【2学期終業式のあとの、児童代表の言葉】12月24日（水）



3年の友野夢久さんと2年の清水大暉さんが、2学期に頑張ったことや3学期に頑張りたいことを話してくれました。「今まで頑張ってきたけれど、3学期もあいさつや学び合いを頑張りたい。」と力強く話してくれたことがとてもうれしかったです。全校児童の前で堂々と発表ができたことは、とても立派です。ちなみにあいさつは、あ…明るく、い…いつも、さ…先に、つ…続ける ことです。

狹山小学校のHPにある「校長のひとり言」を再開しましたので、ご覧ください。ほぼ毎日更新し、子供たちの学校生活の様子をお伝えしています。